

# J A 多気郡柿部会【多気町】

- 後継者への技術伝承と新技術の導入で、**単価の向上にチャレンジ!**
- 販売促進用ツールの作成や輸送中の軟化を防止する包装資材の工夫で、**国内外販路開拓を実現!**

## 取組地域の概要

多気町は、三重県のほぼ中央に位置し、主要幹線道路である国道42号線や高速道路「伊勢道」が通り、物流に関して有利な条件にある。

江戸時代から栽培されている特産の伊勢芋や前川次郎（柿）を筆頭に、伊勢茶・米・いちご・トマトなどの多様な農産物が生産され、松阪牛の肥育も盛んである。

みかんや水田からの転換により、柿の栽培面積が拡大しており、県内最大の柿の産地を形成している。



前川次郎  
次郎柿の中でも、色づくのが早いものを多気町の前川唯一氏が発見し、栽培を広めたもので、「みえの伝統果実」にも選ばれている

## 取組の背景

J A 多気郡柿部会では、今後5年間の産地ビジョンを示した産地構造改革計画を策定するにあたり、部会員に対しアンケート調査を実施した。

アンケート調査結果を基に、「①後継者への栽培技術伝承や新技術の導入による単価向上」、「②県内外への販路開拓」の2つの課題を抽出し、部会が一丸となって収益力向上をめざして取組を開始した。

## 取組のポイント

### ポイント1 後継者への技術伝承や早期摘果を推進し高品質化

- ・生産者の世代交代が進んでいるため、基礎講習会の開催により、後継者等を対象に柿の基本的な栽培技術の習得支援を行っている。
- ・高品質・大玉化のために重要な「早期摘果」を推進している。

### ポイント2 近畿地方の消費者に魅力を伝える販売促進用ツールの作成

- ・次郎柿のしゃきしゃきとした食感の良さを消費者に伝える販売促進用ツールとして、ポスターやリーフレットの作成によりPRを行い、関西市場への販路開拓が実現した。



次郎柿のリーフレット

### ポイント3 タイ・香港への輸出拡大

- ・平成25年にタイで行われた三重県物産展で、大玉で歯ごたえの良い品質が好評を得たことから、平成26年から本格的な輸出に取り組んでいる。
- ・タイへの安定的な輸出のため、果実の軟化を防止する個別包装を実施するとともに、タイの富裕層向けのブランディングが功を奏し、取引の継続につながった。
- ・平成28年には、香港の富裕層向けの輸出を開始し、タイ以上のマーケットを獲得できる手ごたえを得た。

## 今後の展望

さらなる単価向上につなげていくため、現行の販売マーケットとも連携しながら、消費者の多様なニーズに応じ、販売方法を工夫していく。

### ◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県松阪農林事務所農政室地域農政課  
電話 0598-50-0515